

令和5年度地震・津波防災訓練 (内閣府・徳島県鳴門市)

実施報告書 (概要版)

徳島県鳴門市について

徳島県鳴門市は徳島県の東北端、本州と四国を結ぶ東玄関に交流拠点都市として位置する。人口は約5万4千人。北部は瀬戸内海国立公園に指定され、鳴門海峡の急流と逆巻く渦潮は景勝地である。恵まれた自然や歴史、文化などの観光資源を有機的に結んだ広域観光誘致事業の展開、地域特産物（鯛、ワカメ、さつまいもなど）の品質確保と供給力の向上を目指している。供給基地としての体制づくりを進めている。

市は全国に先駆け「地域防災計画」に日常生活の質を高めつつ、おのずと災害時に備えるに繋がるフェーズフリーの概念を取り入れ、推進している。人口減少・少子高齢化の進行する中で都市機能や居住を集約・誘導しながら、各地域を交通で結び、持続可能で住みやすく、活気があり、同時に災害にも強い都市形成を目指し公共施設・道路・公園などの整備・維持管理等にフェーズフリーの考え方を都市全体に日常で施設の利便性を高め、あてはめることで災害時は避難場所・物資保管場所として活用、救助活動・救急搬送の円滑な実施に繋げる。

今回の訓練ではフェーズフリー認証施設を避難場所として訓練を行い、シェイクアウト、情報伝達、津波避難、安否確認等の各訓練を行い、地域防災力の更なる向上に努めている。



出典：国土地理院

訓練概要

- 訓練想定：令和5年11月5日（日）午前9時30分、マグニチュード9.1の地震（南海トラフを震源とする）が発生、鳴門市において最大震度7を観測、最大7.0mを超える津波第一波が48分後に到達する想定で訓練を実施した。
- 実施日時：【訓練実施前WS】 令和5年10月15日（日）10：00～12：00
 【地震・津波防災訓練】 令和5年11月5日（日）9：30～10：30
 【訓練実施後WS】 令和5年11月26日（日）13：30～15：30
- 主催：鳴門市、内閣府
- 参加者数：208名
- 参加機関：地域住民、自主防災組織等
- 訓練項目：シェイクアウト訓練、津波避難訓練、情報伝達訓練、安否確認訓練、防災講話等
- 訓練の特色：指定津波一時避難場所、道の駅「くるくるなると（フェーズフリー認証施設）」を避難場所とし、大代、備前島、矢倉地区住民がシェイクアウト訓練、情報伝達訓練の後、徒歩・自転車で避難などの津波避難訓練、安否確認等の実践的な訓練を実施した。また、同じくフェーズフリー認証施設「ウズパーク」で防災専門家による防災講話を行い、更なる防災意識の高揚を図った。

訓練の成果

【成果】

- 訓練実施前ワークショップでの「事前にやれそうなことリスト」の作成や訓練実施後ワークショップでの「逃げ地図」の作成を通じ、ハザードマップで津波浸水深の確認、個別具体的な移動開始可能時間や避難経路、避難場所（複数）を参加者が現実的に考えました。また、活発な意見交換や防災専門家から過去の災害事例の紹介などで参加者の防災意識の向上が図られた。
- 地震・津波防災訓練で、実際の市からの情報伝達要領、避難する施設までの移動時間・移動経路や施設の特徴、行政支援などを実体験として確認し参加者の居住場所の特性に応じた移動手段の選択や地域内の住民同士が、世代を超え協力する重要性など確認し、参加者の防災意識向上が図られた。

【課題】

- モーターサイレンが聞こえにくい地域の存在などの施設・設備の改善、訓練参加者の年齢層が高く若い世代の訓練参加者向上のための施策、観光客などに対する津波避難誘導や避難場所・避難所の検討、外国人に対する案内・説明要領の検討、夜間に避難経路を照らす照明や蓄光式や蛍光方式の案内板や危険個所の表示、荒天時に迅速・安全に避難する方法の検討など、想定外を作らない工夫が更に必要である。

10月15日（日）10：00～12：00 訓練実施前ワークショップ

- ・地震発生から津波避難行動までの基礎的事項を防災専門家の講義でイメージアップを図り「事前にやれそうなことリスト」作成過程で意見交換、認識共有など、積極的な活動で、理解を深めた。

▼防災専門家 大槻教授（高知大学）の講義



▼ワークショップの様子（市教育委員会）



11月5日（日）9：30～10：30 地震・津波防災訓練

- ・午前9時30分に巨大地震が発生、48分後に津波第一波が到達する想定の下、市内全域で、モーターサイレンを鳴らし情報伝達訓練、引き続きシェイクアウト訓練、津波避難訓練を実施避難場所（くるくるなると）で安否確認等の訓練を実施した。
- ・大代、備前島、矢倉地区住民は、徒歩・自転車での避難、3世代での避難など、実践的な訓練を実施した。
- ・防災専門家による防災講話を行い、更なる防災意識の高揚を図った。

▼津波避難訓練（徒歩）



▼津波避難訓練（自転車）



▼安否確認訓練



▼防災専門家によるその場でシェイクアウト



▼市長による訓練講評



▼防災講話（フェーズフリーフェスティバル）



11月26日（金）13：30～15：30 訓練実施後ワークショップ

- ・津波（東日本震災）の映像及び実動による訓練の状況を映像で共有、訓練の振り返りの後、ワークの「逃げ地図」作成で自宅から避難可能な場所、移動時間を具体化し、活発な意見交換、認識共有など防災意識向上を図った。

▼ワークショップ「逃げ地図」作成の様子（うずしお会館）

